

過疎地域等自立活性化推進交付金交付事業者の破産について

1 補助事業者及び対象事業の内容

(1) 補助事業者

- ① 名 称：株式会社未来サポートさだ 代表取締役 山本友義
- ② 所在地：出雲市佐田町反邊 1 3 9 1 番地 1
- ③ 設立日：平成 2 5 年 4 月 1 日
- ④ 資本金：1 4, 3 5 0 千円
- ⑤ 事業内容
 - ・ 農産物の栽培・加工・販売
 - ・ 畜産物の飼育・加工・販売
 - ・ 農地の耕作と管理業務
 - ・ 農業生産に必要な資材の販売製造
 - ・ 農作業の受託
 - ・ 農産物直売所の経営
 - ・ 生産した農畜産物を使用した飲食・宿泊事業
 - ・ 農業の体験・学習・研修・貸農園事業 ほか

(2) 補助金名

過疎地域等自立活性化推進交付金

(3) 補助年度

平成 2 4 年度 (2012)

(4) 補助事業名

過疎集落等自立再生緊急対策事業
 (雲海の里さだ 自然の恵みを生かした元気おこし事業)

(5) 補助対象事業概要

営農組織「未来サポートさだ」を中核として、個々に活動している団体が参集連携し、生産から加工、販売まで一体的な取組を行うことで6次産業化を進め、地域のコミュニティビジネスのモデルケースとして基盤強化を行うことにより、地域ブランドの創出、生産量の拡大などを図る。

新たなコミュニティビジネスの可能性を調査するとともに、コミュニティビジネスや体験交流型ツーリズムの実践を通じて地域内外との交流を広げ、佐田地域の情報を全国へ発信する。

(6) 補助金額

2 0, 0 0 0 千円 (対象事業費：2 1, 4 7 9 千円)

(7) 補助対象経費内訳

区分	内容	金額(千円)
コミュニティビジネス総合事業	販売促進、商品開発・販路開拓、コミュニティビジネスチャレンジ、交流促進、事業推進 人件費、研修等、備品・施設改修等	14, 801
施設整備事業	施設整備 (イノシシ肉加工施設)	6, 678
合計		21, 479

2 破産に至った経緯

同社は、地域農業の活性化を目的に、農産品の生産・加工・販売等を事業内容として設立され、大豆等の農産物の栽培を通じ、地域の耕作放棄地対策にも貢献し、農作業の受託等も行ってきた。また、製造を行っていた「さだみそ」は、学校給食にも使用されていた。

味噌の製造販売を収益の中心として事業を行ってきたが、人口減少や食の多様化等により味噌自体の需要が減少し、収益体質の改善も叶わなかったことから経営困難に陥った。(負債総額：約 40,000 千円)

3 破産手続について

(1)手続開始日

令和4年(2022)1月26日

(2)破産管財人

錦織法律事務所(出雲市今市町) 弁護士 射場 かよ子

4 今後の対応

本補助事業は、国の交付金を活用し実施したものであることから、今後の対応について、国と協議を行っていく。